

市議会定例会

平成22年第3回常陸大宮市議会定例会が、9月3日から27日まで開会されました。この定例会では、次の議案の審議が行われ、それぞれ可決、認定及び同意されました。

市長提出議案

平成21年度決算

○常陸大宮市一般会計・特別会計（12会計）歳入歳出決算

条例

○常陸大宮市職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

○常陸大宮市火災予防条例の一部を改正する条例

平成22年度補正予算

○常陸大宮市一般会計・特別会計（5会計）補正予算

人事

（敬称略）

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

平島 則子（南町）

その他

○字の区域の変更について

○市道路線の認定、廃止、変更について

常陸大宮市 元気っ子・サマーキャンプ

8月24日から27日まで、美和地域を主会場に市内の小学5年生38人（男15・女23）が参加し、3泊4日の日程でサマーキャンプが実施されました。

猛暑の中、花立自然公園内でウォークラリーや望遠鏡の製作をしたり、尺丈山で下草刈りやネイチャーゲームを体験したりしました。

そして、夜には天文台「美スター」で星空の観測や旧檜沢小学校でキャンプファイヤーなどを行い、盛りだくさんのプログラムを楽しみました。参加者からは、テントに宿泊したことや美和ささの湯にみんなで入浴したことが楽しかったという感想が多く寄せられました。



▲尺丈山での下草刈り体験

長寿を祝って

敬老の日にあたり、9月13・14・15日の3日間、副市長、保健福祉部長が、100歳以上のご長寿の方々を訪問し、市及び市社会福祉協議会から祝い金や記念品をお贈りしました。そして、今年度100歳を迎えられる方には、内閣総理大臣と県知事からの褒状・記念品を贈り長寿をお祝いしました。

また、市内各地域では、市内にお住まいの75歳以上の方を招いて長寿のお祝いの会が催されました。

9月1日現在、市内の65歳以上の人口は13416人で、うち100歳以上の方は31人（男性6人、女性25人）で昨年より2人減りました。以下の表は、市内の100歳以上の皆さんです。



▲御前山地域の敬老会

年齢	氏名（地区）
105歳	小野瀬くに（山方）
103歳	鹿島 一（野上） 軍司 渡（野口） 内田 セイ（上小瀬）
102歳	但野 サキ（野口平） 君島 とし（野口） 會澤 節（諸沢） 桑名 トミ（上小瀬） 栗田 モト（上小瀬）
101歳	横山 さと（鷹巣） 古田 土志ま（野田） 金子 ふちの（長田） 小野瀬貞子（山方） 佐藤 キミ（高部） 長山 ヒテ（下小瀬） 富山 とめ（上岩瀬） 河西 市平（高部） 小林 りゑ（野口） 佐藤 愛子（小田野） 鈴木西之介（鷹巣）
100歳	川野 秀雄（鷲子） 青山はるの（檜山） 桐原 りん（照田） 渡辺 ふさ（照山） 塙 毅（東野） 切石 はな（中富町） 野上 みさ（八田） 大曾根シマ（北町）

9月1日現在 敬称略

※掲載を希望されない方の氏名は掲載していません。

地域コミュニティ活動 活性化のために 宝くじ助成事業で備品を整備

大宮第2区（成井貞行区長）は、地域の活性化やコミュニティを推進するため、各種スポーツ大会への参加及び協力、伝統文化の伝承、社会福祉活動への協力、地域防災・交通安全・防犯活動や、環境美化活動等、様々な活動を地域一体となつて展開しています。

活動拠点となる南町公民館の各種備品は、建設当初に購入して以来、老朽化が進行し使用出来ない状態のものが多く、活動に支障を来している状況でしたが、今般、その不足分を補うとともに、多目的ホールと和室にエアコンを設置し快適な活動環境の改善を図るべく、宝くじの助成金と自己負担金を併せ、会議用テーブル20脚、いす60脚、エアコン3台、地上デジタル放送対応テレビ1台を



購入しました。

宝くじの普及及び広報を目的としてコミュニティ活動に必要な施設や備品を整備するためのこの助成により、同区では、更なる地域活動の盛り上げに期待し、地域全体の活性化につなげていこうと張り切っています。

美和木材共同組合の手により ベンチがリニューアル

市役所前の市民バス停留所、乗合タクシー乗り場に設置されている木製ベンチが新しく生まれ変わりました。

このベンチは、平成19年10月の市民バスの運行開始後に美和木材共同組合より寄贈されたもので、今までたくさんの方に利用されてきました。そして、このたび、同組合がベンチを作業場まで運び、約3年の間に傷んだベンチの表面を削る等して手入れを行い再設置されました。



ようこそ常陸大宮市役所へ ハイスクールの生徒が表敬訪問

9月15日、オーストラリアのギンピーハイスクールの生徒が市役所を訪れました。

訪れたのは小瀬高等学校国際交流事業により来日していた22人の生徒と3人の先生で、議員控室で市長や教育長等と懇談を行った後、議場や展望ロビーを見学しました。

また、市長室にも訪れ、市長椅子に座って記念撮影を行う等して和やかなひと時を過ごしました。



あなたからはじまる救命リレー 救急の日

9月9日の救急の日を前に、9月4日、市内スーパの敷地内で市消防本部主催の救急の日のイベントが行われました。

この催しは、市民の方に救急医療・救急業務に対して正しい理解と知識を深めてもらうために実施されたもので、訓練用ダミーとAEDを使用したの応急手当の実技指導や機器の展示等が行われました。

また、TBSの番組、金スマの「ひとり農業」のコーナーに出演中で常陸大宮大使の渡辺直道さんと消防署員によるトークショーも行われ、実



▲左：渡辺さん

際にあつたトラブルをもとに、体験談を交えて分かりやすく応急処置の方法が紹介されました。

ささの湯は平成15年4月にリニューアルオープン、三太の湯は平成12年4月にオープンした入浴施設で、市内はもとより市外からもたくさんの方が訪れ、やすらぎの場となっています。



また、三太の湯では、9月23日に家族4人で訪れていた水戸市在住の深谷嘉英さんが150万人目の入館者となり、山方総合支所の三次支所長から記念品の目録が贈られました。



9月19日、美和ささの湯の入館者が100万人を達成しました。100万人目の入館者となったのは、毎週当施設を訪れているという水戸市在住の今瀬鶴子さんと、市経済建設部の小林部長から地元特産品等の記念品が贈られました。

**祝 美和ささの湯に100万人
三太の湯に150万人**

いっしょにまちづくり

歴史民俗資料館と共に

茨城大学 人文学部
人文コミュニケーション学科4年
藤井 達也さん

私は歴史民俗資料館で博物館実習をさせていただくとともに、資料館が主催する体験講座「^{こづ}格を育てて和紙を漉こう」にもメンバーとして参加しています。



博物館実習では、民具や古文書の整理のお手伝いを通して、実際に文化財に触れるという貴重な体験をしました。そして、古美術修復の現場を見学し、文化財相手の仕事を身をもって経験することが出来ました。

また、和紙の講座の第3回では、こんにやく作り、紙染めをしました。体験そっこのけで遊んでしまう子ども達には振り回されっぱなしでしたが、こんにやく作りを始めた時の真剣な表情は印象的でした。こうした活動を通じて、子ども達が文化財に興味を持つことを強く願います。

※市と茨城大学とは相互に連携協力し「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」を目指して各事業に取り組んでいます。

お米作りオーナーが稲刈り体験

9月19日、塩田ふるさと協議会（大貫孝夫会長）が募集した豊島区と県内外のお米作りオーナー約70人が、稲刈りを行いました。

この催しは、美味しいお米を生産する塩田地区のPRと交流による地域活性化を図ることを目的として、平成21年度より取り組んでいる事業です。



鎌を使った手刈りの稲刈りは難しく、指を切ってしまった方もいましたが、慣れないおだかけ作業も行い、稲刈り体験を終了しました。

今回刈り取った稲は精米された後、オーナーに配られます。

車に乗ったら 忘れずに

常陸大宮市ネットワークカー協議会ヤッホーふれあいの会(木村勉会長)
は、毎月シートベルト着用調査を山方宿駅前で実施しています。

◎7～9月調査分

調査日	運 転 席			助 手 席			合 計		
	台 数	着用数	着用率(%)	台 数	着用数	着用率(%)	台 数	着用数	着用率(%)
7月1日	190	189	99.5	22	20	91.0	212	209	98.6
8月2日	165	161	97.6	21	20	95.2	186	181	97.3
9月1日	199	191	96.0	19	14	73.7	218	205	94.0